

専修経営学論集 総目次

第1号～第99号

第1号 1965年11月

創刊のことば	梅井 義雄 (1)
いわゆる流通革命について	木村喜一郎 (3)
プロモーションに関する一試論—プロモーションの意義と領域—	出牛 正芳 (19)
責任会計の本質	柘植 敏治 (41)
企業実態調査の統計解析的研究	小田切美文, 中村秀一郎, 後藤 玉夫 (59)
《資料紹介》	
企業史関係の著作と資料	梅井 義雄 (80)

第2号 1966年3月

情報論的に見た配列の多葉性について	小田切美文 (1)
誤謬意識の明確化について	井下 武厚 (17)
差別価格政策の構造	斉藤 高志 (41)
《資料紹介》	
わがくにの貨幣創造に関する一考察	砂田 吉一 (66)

第3号 1967年2月 木村喜一郎教授古稀記念号

奉呈 木村喜一郎教授	(1)
二つの経営学	木村喜一郎 (5)
ヨーダの労務監査論	斉藤 高志 (17)
生産技術に関する函数解析的考察	後藤 玉夫 (42)
日本綿業史上の三井物産と三菱商事—総合商社と企業者活動の事例研究として—	梅井 義雄 (56)
《資料紹介》	
国際水文学十年 (IHD) 計画について	荒巻 孚 (96)

第4号 1967年6月

自然現象の観察を基にした経営社会現象考察への振り向け	小田切美文 (1)
行動科学の発達と企業の経営の場への対応	中野 繁喜 (28)
Randomness Power の表現と Randomness の考察	小田切美文 (45)
《資料紹介》	
若干の三井・三菱経営史料	梅井 義雄 (62)

第5号 1968年2月

シュマーレンバッハ・共同経済的生産性と経営価値計算	小林 健吾 (1)
経営分析論体系化についての試論	

—管理会計における技術的アプローチとして—	井下 武厚 (30)
レイノルズの賃金論	齋藤 高志 (71)

《研究ノート》

電子計算機による光波のシミュレーション	阿部 邦彦, 森 克美 (107)
---------------------	-------------------

第6号 1969年6月

日本における優先株発行	志村 嘉一 (1)
公益企業の Pricing および投資政策に関する一考察	藏下 勝行 (29)
経営多角化の序論的研究—企業形態論的分析への一つのステップ—	壺岐 晃才 (51)

第7号 1969年7月

経営類型の範疇的体系	齋藤 高志 (1)
経営管理論史研究の方法に関する若干の考察	工藤 達男 (31)
会計における理論構成の方法—ダイントナー教授の所論を中心として—	竹林 代嘉 (53)

第8号 1970年7月

常務会制度の現状と問題点	山田 一郎 (1)
新製品の普及過程	出牛 正芳 (33)
F・B・ギルプレス経営管理論の学説的意義	工藤 達男 (61)

第9号 1971年2月

ドイツ経営経済学の史的展開に関する一考察	遠藤 薫美 (1)
会計原則の理論的解明に関する一視点—AAA1936年『試案』をめぐって—	竹林 代嘉 (19)
AAA 原価計算基準の研究	櫻井 通晴 (33)
EDP 部門の組織	竹村 憲郎 (61)
アメリカにおける財務組織の発展	柘植 敏治 (91)

第10号 1971年10月

三井物産会社史の計数的概観	梶井 義雄 (1)
Pearson Hunt の資本予算における二比率法について	井下 武厚 (19)
マーケティング・プランニングにおける情報の役割	出牛 正芳 (37)
バーナム「経営者革命論」の経営学的意義	齋藤 高志 (53)
テイラーの精神革命論とメイヨの精神革命論の比較検討	工藤 達男 (69)
不完全分割表	崎野 滋樹 (97)
東証株価指数の Power Spectral Analysis	森 克美 (107)

第11号 1972年3月

計数からみた大正・昭和期の三井物産会社	梶井 義雄 (1)
幕末における日本人の科学的思考の理解	黒田 孝郎 (37)

AAA 管理会計委員会報告書の研究—管理会計の意義・本質および適用領域をめぐって—	櫻井 通晴 (55)
規範的意思決定論の現実化	稲川 和男 (79)
「情報価値の測定」	竹村 憲郎 (121)

第12号 1972年11月

経営管理過程理論の変貌に関する若干の考察	工藤 達男 (1)
個別計画のための原価概念—AAA1955年度原価委員会報告書をめぐって—	櫻井 通晴 (31)
会計に対する経済学的研究の一視点—キャニング教授の所論を中心として—	竹林 代嘉 (53)
製品・市場戦略の体系的展開	稲川 和男 (69)
Symmetric Game における Bargaining Set	伊東 洋三 (137)

第13号 1973年 4 月

ユニット・プライシングに関する諸問題	出牛 正芳 (1)
新設ホテルの需要予測に関する実証的研究	蔵下 勝行 (25)
経営管理論の基本的枠組としての決定モデル	稲川 和男 (41)
有向擬似順序にもとづく Collective Relation	森 克美 (111)

第14号 1973年10月

大企業体制下の労働組合	齋藤 高志 (1)
コンパラティブ・マネージメントの意義と接近法	竹村 憲郎 (23)
マーケティング情報システム概念の再検討	稲川 和男 (37)
ガーナー「原価計算の歴史的展望」	櫻井 通晴 (105)

第15号 1974年 4 月

不況下におけるペイトン理論	竹林 代嘉 (1)
《資料》	
アメリカの管理会計基準—解説・訳文および訳注—	櫻井 通晴 (15)
社会・環境志向型マーケティングの基本的枠組	稲川 和男 (89)
分割関数形のゲームの交渉集合, カーネル, 仁	伊東 洋三 (115)
Some Considerations on the Optimal Solutions for Special Class of N-Person Differential Games.	森 克美 (135)

第16号 1974年 7 月

アレン管理論に関する若干の検討	工藤 達男 (1)
マーケティング管理論の再構成—社会・環境志向型への変換—	稲川 和男 (31)
「原価計算基準」における原価の本質規定の限界	櫻井 通晴 (85)

第17号 1974年11月

計数からみた太平洋戦争期の三井物産会社	梅井 義雄 (1)
副社長・専務・常務論—複雑な役割の二重性—	山田 一郎 (21)

ガルブレイスの経営思想—テクノストラクチャ論を中心として—	齋藤 高志 (35)
バーナード組織理論の一考察—個人と組織をめぐる若干の問題点—	高橋 蔦美 (55)
クーンツ=オドンネルの管理・組織原則論に関する一考察	工藤 達男 (75)
情報システムの設計	竹村 憲郎 (99)
マーケティング管理論の理論前提	稲川 和男 (117)

第18号 1975年7月 情報管理特集号

情報因子を必要条件の一つに加えて考察した均衡システムの概観(1)	小田切美文 (1)
小選挙区における3乗法則	武隈 良一 (11)
N人微分ゲームにおける情報の汚染	森 克美 (25)
マーケティング・リサーチとマーケティング情報システム	稲川 和男 (45)
経営情報論生成の背景	竹村 憲郎 (83)

第19号 1975年10月

工程別原価計算方法における問題点—累加法と非累加法の比較—	中山 雅博 (1)
ベイトンの資産評価論に関する一考察	竹林 代嘉 (45)
管理会計への隣接諸科学導入の理論的研究 —1969~71の管理会計関係のAAA委員会報告書を中心にして—	櫻井 通晴 (93)
デール経営組織論の基礎的研究—行動科学的理論に関する彼の評価を中心として—	工藤 達男 (125)
アメリカ合衆国における組織理論の歴史的展開に関する一試論	高橋 蔦美 (155)

第20号 1976年6月

チュマチェンコの利益差異分析	中山 雅博 (1)
National Steel Co.の形成過程(1)—アメリカ鉄鋼独占体形成史(Ⅲ)—	溝田 誠吾 (39)
非ゼロ和ゲームにおけるパレート最適性—ダイナミカル・システムのアプローチ—	森 克美 (107)
わが国における流通革命論争	田口 冬樹 (121)

第21号 1976年9月

責任労働者の育成と職場社会の自治—ドラッカーの労務管理論—	齋藤 高志 (1)
ドラッカーの自由企業論	齋藤 高志 (23)
デイヴィスのリーダーシップ論	工藤 達男 (41)
National Steel Co.の形成過程(2)—アメリカ鉄鋼独占体形成史(Ⅲ)—	溝田 誠吾 (83)
ケインズの遺したもの	池本 正純 (129)
On Some Mathematical Models for Population Growth of Two Interacting Species (I) —Lanchester-type models in Operation Research—	坂本 実 (155)

第22号 1977年3月 梅井義雄教授退職記念号

献 詞	小田切美文
経営経済学の若干の方法論的考察	上林貞治郎 (1)
経営学本質論—経営学は科学たりうるか—	山田 一郎 (31)

組織と革新	齋藤 高志 (53)
サイモン管理論の方法論的基礎	工藤 達男 (75)
マーケティング・ミックスの戦略的観点	出牛 正芳 (99)
道路における社会的費用と通行料金	藏下 勝行 (121)
公共財の費用分担	伊東 洋三 (145)
貨幣ヴェール観と貨幣数量説—貨幣的経済理論の系譜—	池本 正純 (157)
梅井義雄教授 略年譜・著作目録(抄)	(187)

第23号 1977年 6 月

予算管理原則の研究	櫻井 通晴 (1)
消費者行動モデルの数量化に関する基本問題	奥田 和彦 (29)
流通チャネルの展開機構	田口 冬樹 (61)
アメリカ鉄鋼業の企業類型—1873~1904— —アメリカ鉄鋼独占体形成史(IV)—	溝田 誠吾 (85)

第24号 1978年 3 月

流動性比率分析の一考察	井下 武厚 (1)
1920年以降の住友財閥に関する一考察—住友合資会社の経営を中心として—	麻島 昭一 (27)
オショネシーのシステムの組織論評価に関する一考察	工藤 達男 (73)
管理会計における報告システムと企業行動—特に内部収益性の報告システムについて—	櫻井 通晴 (109)
初期 Peyton 理論の計算構造	竹林 代嘉 (147)
U. S. Steel Trust の形成過程(2) —第二次製品市場の支配— —アメリカ鉄鋼独占体形成史(VI)—	溝田 誠吾 (177)

第25号 1978年 4 月 情報管理特集号

システム思考とマネジメント	竹村 憲郎 (1)
地域開発計画策定における諸問題(I)	藏下 勝行 (15)
情報管理学科のカリキュラムについて	大河内正陽 (33)
制約成分をもつある種のシステムについて	坂本 実 (45)
マトロイドの公理系について	佐藤 創 (73)
反射壁のある場合のランダム・フライト(II)	崎野 滋樹 (85)

第26号 1978年 7 月

《論説》

巨大組織体の所有、企業、事業経営について	石田 武雄 (1)
両大戦間における住友財閥の販売部門	麻島 昭一 (19)
古典的管理論の近年における特質—マッシーの考察を中心として—	工藤 達男 (81)
生活構造の再検討—社会行動論による消費者行動研究— (予備調査報告1)	奥田 和彦 (111)
直接原価計算における期末調整	櫻井 通晴 (195)

ペイトン学説の展開—1924年の「会計学」を中心として—	竹林 代嘉 (24)
《資料》	
米国におけるビジネス・スクールのランキング	竹村 憲郎 (269)

第27号 1979年 3月

《論説》

取締役会の役割と構成(上)—アメリカの「ビジネス円卓会議」の『意見書』について—	山田 一郎 (1)
シェルドンの管理哲学に関する若干の考察	工藤 達男 (15)
等級別総合原価計算の本質とその計算法の特性	櫻井 通晴 (41)
ペイトン学説における公準の意義	竹林 代嘉 (73)

《書評》

Charls Weber, <i>The Evolution of Direct Costing</i>	櫻井 通晴 (117)
--	-------------

第28号 1979年 8月

《論説》

住友家事業の経営組織—明治末・大正前期の考察—	麻島 昭一 (1)
「原価計算基準」改訂に関する学会の動向	櫻井 通晴 (59)
生活構造論の再検討—社会行動論による消費者行動研究—	奥田 和彦 (73)
〈予備調査報告2〉	

第29号 1980年 2月

《論説》

CASBの原価計算基準研究	櫻井 通晴 (1)
実証的研究の方法論的検討—行動科学的方法の基本問題—	奥田 和彦 (75)
鉄鋼プールの形成と崩壊—アメリカ鉄鋼独占成立期を中心に—	溝田 誠吾 (123)
めっき業のマーケティング問題	田口 冬樹 (143)
社会情報システムと放送情報—放送企業実態調査報告—	竹村 憲郎 (171)

第30号 1980年 8月

《論説》

取締役会の役割と構成(下)—アメリカの「ビジネス円卓会議」の『意見書』について—	山田 一郎 (1)
戦時体制期の住友財閥	麻島 昭一 (21)
わが国企業のゼネラル・スタッフについて	今居 謹吾 (99)
社会的責任会計の課題とその測定	櫻井 通晴 (125)
分散型情報システムの経済的分析	八鍬 幸信 (151)
資本運動計算書論とヨーンズの財政経済的貸借対照表論	瓶子 長幸 (177)

第31号 1981年 2月

《論説》

クーンツ, オドンネル, ヴァイリッヒの経営管理に対する

理論的アプローチの類型的把握に関する若干の考察	工藤 達男 (1)
経営計画論の再構築—経営計画, 経営問題と意思決定方法について—	今居 謹吾 (49)
動態論時代におけるペイトン学説	竹林 代嘉 (75)
事例研究: PNC法(東レ)の研究開発・工業化過程	大滝 精一 (129)
ワルブの資金会計論—『財務経済的貸借対照表論』を中心に—	瓶子 長幸 (157)

第32号 1981年9月 斎藤高志教授追悼記念号

斎藤高志教授追悼記念号に寄せて	出牛 正芳
《論説》	
戦前における無尽会社研究の一考察—金融機関としての無尽会社について—	麻島 昭一 (1)
経営情報システムの発展と企業における応用	今居 謹吾 (41)
管理会計における隣接諸科学研究について	櫻井 通晴 (63)
マーシャルの企業者像	池本 正純 (79)
大規模研究開発プロジェクトの組織間分析	
—「原子力製鉄プロジェクト」の事例に関する予備的考察—	大滝 精一 (103)
Industry and Finance in Japan: Financing of Large Enterprises in the 1910s and 1920s	麻島 昭一 (151)
U. S. Steel Trustの価格政策—Basing Point Systemを中心に—	溝田 誠吾 (173)
斎藤高志教授履歴及び研究業績	(285)

第33号 1982年3月

《論説》	
住友財閥の経営者層の考察—住友合資会社設立以降を中心に—	麻島 昭一 (1)
経営管理におけるコントロールの発展	今居 謹吾 (71)
組織に関する実態調査—中小規模の企業を対象に—	加藤 茂夫 (95)
「技術革新マネジメント」研究の新展開	大滝 精一 (151)
ワルブ貸借対照表論の検討—『公私経営の成果計算論』を中心に—	瓶子 長幸 (181)

第34号 1982年9月

《論説》	
経営管理過程論者における意思決定の把握方法に関する一考察	
—クーンツ, オドンネル, ヴァイリッヒの主張を中心として—	工藤 達男 (1)
経営シミュレーション・モデルの発展と利用について	今居 謹吾 (43)
産業構造の変化と『原価計算基準』	櫻井 通晴 (73)
不確実性と企業者機能—ナイトの企業者像—	池本 正純 (91)
《書評》	
儀我社一郎著『多国籍企業論』—その規制と国有化—	山田 一郎 (123)
Vijay Sathe, <i>Controller Involvement in Management</i>	大滝 精一 (129)

第35号 1983年3月

《論説》	
財務管理の目的	柘植 敏治 (1)

労務管理体系に関する考察	関口 功 (19)
公共経済における比率均衡とコア	伊東 洋三 (45)
経営経済学に対する批判的合理主義の役割	丹沢 安治 (63)
《研究ノート》	
会計言語システムの構成(1)—会計測定の公理論的定式化をめぐる—	本江 渉 (83)

第36号 1983年7月 山田一郎教授退職記念号

献 辞	出牛 正芳
《論説》	
日本の金融制度における分業主義の系譜	麻島 昭一 (1)
市場占有率の応用と意義に関する考察	今居 謹吾 (45)
中高年齢層の企業内能力開発に関する考察	関口 功 (89)
管理会計実践の日米比較	櫻井 通晴 (117)
流通政策の役割と問題点—流通機構に対する行政介入を中心として—	田口 冬樹 (139)
大規模研究開発プロジェクトのマネジメント—工業技術院大型プロジェクトの組織間分析—	大滝 精一 (159)
《書評》	
平 雄之著『コミュニケーション・アプローチ—バーナード 経営学への道—』(早稲田大学出版部, 昭和56年9月)	高澤 十四久 (189)
山田一郎教授 履歴・業績	(197)

第37号 1984年3月

《論説》	
第一次大戦期の三菱財閥の改組—その財務的側面の考察—	麻島 昭一 (1)
実証研究における基本的問題の検討—調査不能増加傾向の究明—	奥田 和彦 (45)
現代経営管理過程論の基本的思考に関する一検討 —ニューマン, ワレン, シニエの把握を中心として—	工藤 達男 (75)
わが国の新技術革新に伴う労務管理問題と対応 —マイクロ・エレクトロニクス化を中心として—	関口 功 (103)
《研究ノート》	
動的貸借対照表の独立性の意味—ワルブ貸借対照表論の再検討—	瓶子 長幸 (129)
会計言語システムの構成(2)—会計測定の公理論的定式化をめぐる—	本江 渉 (147)
《調査報告》	
オフィス・オートメーション実態調査報告	竹村 憲郎 (181)

第38号 1984年9月

《論説》	
戦間期三菱財閥の収支構造	麻島 昭一 (1)
意図 (purpose) に関する一考察—特に目的, 目標および使命との関連について—	今居 謹吾 (79)
日本技術者の系譜 (1800年~1930年)	黒岩 俊郎 (107)
伝統的会計情報における客観性と真実性	本江 渉 (135)
《紹介》	
日本のマネジメント・システム—V. ビューチェックの普遍モデルを中心に—	加藤 茂夫 (169)

《書評》

斎藤毅著『上野陽——人と業績 [誕生百年記念]』, 産業能率大学, 昭和58年, 非売品 岡田 和秀 (187)

第39号 1985年 2 月

《論説》

「日本の経営」の移植可能性 儀我社一郎 (1)

テリーの経営哲学と経営環境との関わり合いについての思考 工藤 達男 (37)

Performance Measurement Techniques and Goal Setting

...A Comparison of American and Japanese Practices Michiharu Sakurai (69)

Larry N. Killough

Robert M. Brown

戦時体制期の三菱財閥—収支構造を中心として— 麻島 昭一 (87)

社内ベンチャー活動の日米比較—3Mと東レの比較事例研究を中心にして— 大滝 精一 (171)

第40号 1985年 7 月

《論説》

経営多角化の考えと企業における応用の推移 今居 謹吾 (1)

ロビンスの経営組織文化論に関する若干の考察 工藤 達男 (45)

コンピュータ・ソフトウェア会計の諸問題—原価計算と資産性の考察— 櫻井 通晴 (77)

日本の雇用管理慣行の成立に関する考察 関口 功 (99)

三菱財閥の株式公開—資金調達面からの考察— 麻島 昭一 (125)

マーケティング・チャネルの発展動向とチャネル・リーダーシップの分析 田口 冬樹 (217)

第41号 1986年 2 月 大河内正陽教授退職記念号

献 辞 出牛 正芳

思い出多し 大河内正陽先生の周辺 小田切美文

《論説》

コンティンジェンシー・プランの発展と企業における応用 今居 謹吾 (1)

香港・澳門・中国と「多国籍企業」 儀我 社一郎 (35)

現代日本における大規模企業の集団化・系列化に関する若干の考察

—トヨタ・グループと松下グループを中心として— 工藤 達男 (81)

戦後における日本の雇用管理慣行とその展望 関口 功 (121)

A Comparative Study on Office Automation between the U. S. A. and Japan Norio Takemura (163)

九州電気軌道「九軌」(株)に関する秘密政治救済についての企業・政府関係論的一アプローチの一つの試論

..... 又城 一郎 (183)

日本技術者の系譜(その2)(1931年～現在) 黒岩 俊郎 (229)

MIS/DSS 設計要因の実験的研究 高津 信三 (261)

《書評》

島袋嘉昌編著『経営哲学の基礎』(中央経済社, 昭和60年 5 月) 高澤十四久 (327)

大河内正陽教授 履歴・業績 (335)

第42号 1986年9月

《論説》

- わが国の価格決定に関する実証的研究—アメリカ・カナダ企業との対比において— …………… 櫻井 通晴 (1)
最高経営者の資質・能力の研究に関する考察 …………… 今居 謹吾 (31)
社内ベンチャーと戦略概念の進化 …………… 大滝 精一 (79)
財務会計情報システムとエイジェンシー関係 …………… 本江 渉 (155)

《研究ノート》

- 「昭和60年商業統計速報」から見た商業の変化 …………… 田口 冬樹 (187)

《書評》

- 斎藤毅著『上野陽一と経営学のパイオニア』（産業能率大学，昭和61年（非売品））…………… 岡田 和秀 (205)
三戸 公・榎本世彦著『フォレット』（同文館，昭和61年）…………… 高澤十四久 (213)

第43号 1987年3月 大熊 正教授 追悼記念号

- 大熊 正教授追悼記念号に寄せて…………… 出牛 正芳
向い合い研究室での大熊先生…………… 小田切美文

《論説》

- 統計推論の基礎について…………… 崎野 滋樹 (1)
住友財閥の株式公開—資金調達面からの考察—…………… 麻島 昭一 (17)
創造性 (creativity) に関する一考察
—日本人の創造性と企業における創造性の育成・発揮—…………… 今居 謹吾 (127)
満足化意思決定基準の数学的側面…………… 高津 信三 (165)
記数法の一般化とコンパクトディスク—算術符号の一応用—…………… 佐藤 創 (191)
世界Ⅲの理論と理論負荷性，共約不可能性…………… 丹沢 安治 (209)

《学外寄稿》

- 追悼文…………… 梅垣 壽春 (233)
In Celebration of the Life of TADASHI OHKUMA…………… Patty and John Tanaka (239)
Letter of Consolation to Mrs. OHKUMA…………… Vladimir Devidé (243)
大熊 正教授履歴・業績…………… (247)

第44号 1987年9月

《論説》

- 簡易ガス事業の現状と問題点および課題と対策…………… 又城 一郎 (1)
財閥系生命保険会社の預け金…………… 麻島 昭一 (69)
業種別ライフサイクルの段階に関する一研究…………… 今居 謹吾 (205)
ロードマネジメントと季時別電気料金制について…………… 斉藤 雄志 (259)
西ドイツの労働協約に関する考察…………… 関口 功 (279)

《研究ノート》

- コッツにおける「中心不特定支配」の意味…………… 雲嶋 良雄 (307)

第45号 1988年3月

〈論説〉

- 資本輸出と多国籍企業儀我壮一郎 (1)
わが国企業の財務比率と資本構成の変遷柘植 敏治 (29)
世界の若者達による現代日本の企業経営観—考察と吟味—(その1)工藤 達男 (63)
SOFTWARE COST ACCOUNTING MECHANISM In JAPANMichiharu Sakurai (87)
Wallace J. Growney
産業の空洞化に関する一考察今居 謹吾 (109)
ペイトン学説分析の一視点—1940年代以前の文献をめぐって—竹林 代嘉 (153)

第46号 1988年9月

〈論説〉

- OR教育におけるコンピュータの活用について—ゲーム理論の図解を中心に—坂本 実 (1)
高速道路交通需要関数に関する実証的研究蔵下 勝行 (29)
FA工場における管理会計制度の実態櫻井 通晴 (53)
Philip Y. Huang
世界の若者達による現代日本の企業経営観—考察と吟味—(その2)工藤 達男 (81)
情報化とエネルギーサービス事業又城 一郎 (115)
大正期における財閥系生保の有価証券投資麻島 昭一 (151)
高等教育進学率の向上と今後の見通し今居 謹吾 (303)

第47号 1989年3月

〈論説〉

- 食事行動の構造分析—消費者行動研究の新断面—奥田 和彦 (1)
菅井準一先生—人とその業績—黒岩 俊郎 (25)
日本の小売企業の国際化について田口 冬樹 (45)
簡易ガス事業における消費者選択問題—公益事業における『規制と競争』序説—又城 一郎 (81)
我が国企業のリストラクチャリングに関する一考察今居 謹吾 (107)
行動理論的経営経済学の理論構造—Günther Schanzの二つの橋渡し問題—丹沢 安治 (159)
貸借対照表と利益計算—85年西独商法会計規定と65年株式法の比較—瓶子 長幸 (195)

第48号 1989年10月

〈論説〉

- 高速ストリング・サーチ・アルゴリズムの提案大曾根 匡 (1)
競争と棲み分け今居 謹吾 (17)
産業の種類と会管理会計実践櫻井 通晴, 伊藤 和憲 (57)
エネルギー需給構造の国際比較—小型軽量モデルによる韓国と台湾の分析—斎藤 雄志 (89)
POS スキャンパネルデータによる消費者選好とブランドポジショニングの推定村本理恵子 (113)

第49号 1990年3月 小田切美文教授退職記念号

献辞	出牛 正芳
小田切教授との交わりから	崎野 滋樹
《論説》	
経営戦略に関する若干の実践理論的研究	工藤 達男 (1)
西ドイツ経営経済学における取引費用アプローチの展開	丹沢 安治 (57)
興亡盛衰に関する一考察—文明、国家の興亡と産業、企業の盛衰—	今居 謹吾 (83)
規制緩和下におけるガス事業の独占性再検討と競争原理の導入	又城 一郎 (129)
東信電気の財務的側面—森コンツェルン研究の一環として—	麻島 昭一 (161)
会計システムにおけるデータベースの利用	本江 涉 (209)
日本科学技術の現状と課題	黒岩 俊郎 (243)
小田切美文教授 履歴・業績	(279)

第50号 1990年9月

《論説》	
人事考課の基礎的手法に関する考察	関口 功 (1)
Capitalization or Expense for Software ; Japanese Survey	Paul Scarbrough (37)
	Robert McGee
	Michiharu Sakurai
戦前における生保会社の貸付金—帝国生命の事例分析—	麻島 昭一 (81)
経営管理方法の発展と課題	今居 謹吾 (157)
エネルギー需要の長期的推移とエネルギーシェア(1)	
—長期統計と国際統計による電力化率の分析—	斎藤 雄志 (203)
たたらと高炉の距離—幕末時、日・欧の技術較差について—	黒岩 俊郎 (225)

第51号 1991年3月 又城一郎教授退職記念号

献辞	坂本 実
又城一郎先生の思い出	出牛 正芳
思い出	中野 繁喜
《論説》	
(特別寄稿)「女はらから」の論—その意識の変遷—	中田 武司 (1)
(特別寄稿) バスカル自然学における空の存在をめぐって(I)	市倉 宏祐 (201)
消費者行動論の再構築(I)—方法論の検討—	奥田 和彦 (1)
複数パターンの同時高速検索のためのストリング・サーチ・アルゴリズムの提案	大曾根 匡 (57)
企業経営における動機づけ問題の基礎的考察	工藤 達男 (81)
高金利時代における資金計画と財務部門の役割	今居 謹吾 (117)
公共的利害をめぐるペイトンおよびリトルトン学説	竹林 代嘉 (147)
Transaction Costs and the Role of the Merchant	池本 正純 (173)
又城一郎教授 履歴・業績	(237)

第52号 1991年10月

《論説》

エネルギー需要の長期的推移とエネルギーシェア(2)斎藤 雄志 (1)

創造性の育成と発揮今居 謹吾 (21)

Entrepreneurial Aspects in the Production Process
 ...An Attempt to Integrate Theories of the EntrepreneurMasazumi Ikemoto (57)

(特別寄稿) パスカル自然学における空の存在をめぐって(II)市倉 宏祐 (87)

第53号 1992年1月

《論説》

企業の情報処理部門費の管理櫻井 通晴 (1)

近江八幡商人の金融的側面—明治中期の西川甚五郎家を中心として—麻島 昭一 (19)

企業文化の認知論的解釈—情報資源管理とのかかわりから—奥村 経世 (65)

3大生保の経営活動—明治20年代の募集部門を中心に—中川 敬司 (83)

第54号 1992年3月 崎野滋樹教授 退職記念号
今居謹吾教授

献辞坂本 實

崎野滋樹先生の思い出出牛 正芳

今居謹吾先生の思い出加藤 茂夫

《論説》

研究開発費の管理会計櫻井 通晴 (1)

協調的適応と日本のマネジメント慣行—日本の経営の経済理論—丹沢 安治 (21)

商品としてのエネルギーの質について斎藤 雄志 (53)

わが国企業における情報化の現状竹村 憲郎 (67)

動態的経営管理の探究工藤 達男 (113)

スモールビジネスの組織特性加藤 茂夫 (135)

確率分布のエントロピーの計算(前)佐藤 創 (189)

高速道路交通需要関数に関する実証的研究〔II〕蔵下 勝行 (227)

崎野滋樹教授 履歴・業績(261)

今居謹吾教授 履歴・業績(267)

第55号 1992年10月

経営学部30年の軌跡出牛 正芳 (1)

《論説》

戦前期地方信託会社の有価証券信託—秋田, 近江信託の事例による実証的研究—麻島 昭一 (31)

企業ならびに一般組織体におけるリーダーシップ工藤 達男 (83)

わが国管理会計システムの実態—CIM企業の実態調査分析—櫻井 通晴 (109)

保険業法施行前の中小生保—中小生保における貯蓄型保険の意味を巡って—中川 敬司 (177)

Artificial Organizational Learning via SimulationTakehiro Matsuda (215)

第56号 1993年3月

《論説》

- 戦前期三井物産の保険部門 麻島 昭一 (1)
 プライオリティサービスのシミュレーション分析(1) 斎藤 雄志, 松川 勇 (111)
 確率分布のエントロピーの計算(後) 佐藤 創 (137)
 日米為替レートの予測 崎野 滋樹 (165)
 戦間期の生保経営—利源分析に基づく実証的研究— 中川 敬司 (179)

第57号 1993年10月

《論説》

- 日米フランチャイズ・ビジネスの発展と米国フランチャイザーの国際化戦略 田口 冬樹 (1)
 ソフトウェアリユースモデルと開発環境 魚田 勝臣 (59)
 現代フランス経営学に関する1研究—レイモン・アラン・ティエタルを中心として— 工藤 達男 (89)
 日米エネルギー需給構造の比較 斎藤 雄志 (105)

第58号 1994年3月 中野繁喜教授退職記念号

- 献 辞 坂本 實
 中野繁喜先生との邂逅 加藤 茂夫

《論説》

- 経理・財務の役割とその変革—経営の効率化をめざして— 櫻井 通晴, 竹本 達広, 辻 正雄 (1)
 役員情報システム (EIS) の構築 竹村 憲郎 (39)
 層別化および可視化による情報処理システムの構築 魚田 勝臣, 富沢 研三, 出口 博章, 田村 幸子 (61)
 ペイトン理論における経営管理目的重視の意義 竹林 代嘉 (91)
 中野繁喜教授 履歴・業績 (113)

第59号 1994年10月

《論説》

- 日本の労務管理再考 (I) 関口 功 (1)
 科学的管理論生成への道程再考—アメリカにおける情況を中心として— 工藤 達男 (35)
 Managerial Significance of Activity-Based Costing and Activity-Based Cost Management Michiharu Sakurai (51)
 Paul D. Scarbrough
 Japan's New Look Distribution Systems John Fahy (91)
 Fuyuki Taguchi
 わが国企業における情報化の現状—1993年情報化実態調査報告を中心にして— 竹村 憲郎 (129)

第60号 1995年2月

《論説》

- 現代フランス経営学に関する1研究

—レイモン・アラン・ティエタールを中心として—(その2)	工藤 達男 (1)
トータル・クオリティマネジメントの日本企業へのインパクト	
—アメリカ企業の反撃とTQMの確立—	櫻井 通晴 (29)
都市の資源・環境負荷の分析(1)—資源連関分析によるアプローチ—	齋藤 雄志 (47)
企業と業界のリストラクチャリング—製粉業界の経営戦略—	加藤 茂夫 (79)
Japanese-Style Interpersonal Relationship and Foreign Employee's Job Satisfaction	永井 裕久 (121)

第61号 1995年10月

《論説》

現代フランス経済学に関する1研究

—レイモン・アラン・ティエタールを中心として—(その3)	工藤 達男 (1)
オープン化時代のシステム化投資の評価	櫻井 通晴 (27)
スモールビジネスの組織変革と人材活用—過去における3時点調査の時系列的把握—	加藤 茂夫 (59)
日本人海外派遣者における職務満足と生活満足の相互影響について	
—北米、アジア、欧州3極地域の比較研究—	永井 裕久 (83)
人間資源管理の新機軸—日本の経営の崩壊と存続—	馬場 杉夫 (107)
処理行政へのマーケティングの活用—ゲーミングシュミレーションのリサーチへの応用—	村本理恵子 (135)
チェスターI.バーナード研究書誌(2)	高澤十四久 (181)

第62号 1996年3月 井下武厚教授 退職記念号 黒岩俊郎教授

井下先生、黒岩先生の定年ご退職に寄せて	竹村 憲郎
井下先生を語る	柘植 敏治
黒岩先生について	麻島 昭一

《論説》

製造物責任法とマーケティング—特に表示問題を中心に—	出牛 正芳 (1)
経営意思決定に関わる認識の変遷	工藤 達男 (37)
売上・利益・原価に関する差異分析	中山 雅博 (67)
今後の有料道路制度のあり方をめぐって	蔵下 勝行 (93)
私立大学における決算書類開示の現状—首都圏私大30校を中心に—	竹村 憲郎 (121)
消費者行動論の再構築IV—購買行動の特殊形態—	奥田 和彦 (173)
明治初期八幡銀行の定期預金の形成	麻島 昭一 (211)
オーストリア商法の貸借対照表観	瓶子 長幸 (265)
都市の資源・環境負荷の分析(2)—資源連関分析によるアプローチ—	齋藤 雄志 (279)
キャッシュフロー会計の2つの形態	
—T.A.リーとB.E.ヒックスのキャッシュフロー報告システムの比較—	小西 範幸 (323)
井下武厚教授 履歴・業績	(343)
黒岩俊郎教授 履歴・業績	(351)

第63号 1996年9月

《論説》

企業における動機づけ理論の変貌	工藤 達男 (1)
-----------------------	-----------

昭電・森企業集団の人的側面—昭和電工成立以後について—	麻島 昭一 (21)
Comparative Study of Financial Organization in the US and Japan	Michiharu Sakurai (117)
	Patric Keating
	Patric McCabe
	Masao Tsuji
	Tatsuhiko Takemoto
Shopping Centers—Japan and the U. S. Compared—	Fuyuki Taguchi (143)
	Robert E. Weigand

《書評》

木下照嶽他著『政府・非営利企業会計』	櫻井 通晴 (173)
--------------------	-------------

第64号 1997年2月 熊野剛雄教授 退職記念号

熊野剛雄先生の定年ご退職に寄せて	竹村 憲郎
熊野剛雄先生について	出牛 正芳
熊野先生について	麻島 昭一

《論説》

2つの競合する有料道路の料金決定—M.J.ベックマンの所論を中心にして—	藏下 勝行 (1)
組織行動論的リーダーシップの1研究	
—J.M.ジョージとG.R.ジョーンズの所論を中心として—	工藤 達男 (21)
利益差異分析の新展開	中山 雅博 (43)
ソフトウェアの価値と価格	櫻井 通晴 (83)
熊野剛雄教授 履歴・業績	(109)

第65号 1998年1月

《論説》

明治中期三井銀行の定期預金—明治22年～24年帳簿からの実証分析—	麻島 昭一 (1)
長期信用銀行をめぐる諸問題—1980年代以降を中心に—	井上 裕 (51)
構造的不況下における管理会計制度	櫻井 通晴, 伊藤 和憲 (97)
都市におけるエネルギー消費と都市基盤施設のエネルギー負荷	齋藤 雄志, 大林 守 (135)
《博士論文要旨および審査報告》	
大島 久幸「戦前期総合商社の海運政策」	(151)

第66号 1998年3月 工藤達男教授 追悼記念号

故工藤達男教授追悼記念号の刊行に寄せて	竹村 憲郎
工藤達男先生を追悼して	麻島 昭一
工藤達男教授追悼記念号に寄せて	出牛 正芳

《論説》

地方銀行と鉄道企業の関係—滋賀県の百三十三銀行・八幡銀行の事例—	麻島 昭一 (1)
日本におけるスモールビジネスの組織特性(IV)	
—店頭登録企業における組織と人事に関する調査—	加藤 茂夫, 永井 裕久, 馬場 杉夫 (45)
進化する企業組織形態「アウトソーシング」における自生とデザイン	丹沢 安治 (85)
How Japanese Management Accounting Systems Have Changed under Structural Depression	Michiharu Sakurai (131)

《翻訳》

イワオ・F・アユサワ著『現代日本の労働史』

- 第4章 戦間期（第1次世界大戦から第2次世界大戦）1939-1945（抜粋）……………岡田 和秀（175）
工藤達男教授 履歴・業績……………（197）

第67号 1998年11月

《論説》

- 消費者行動論の再構築Ⅴ—「消費」における「生産」含意の検討—……………奥田 和彦（1）
アウトソーシングにおける業績測定と価格決定
—情報技術のバリューベースト・アウトソーシングに関連して—……………櫻井 通晴（41）
社会科学への定性推論の適用とコンピュータ支援……………石鎚 英也，高津 信三（83）
関係の能力の形成と機能……………山田 耕嗣（117）
Facilitating the Starting ups of the Small Venture Business in Japan……………Masanori NOZAKI（143）
Kazuhide OKADA
Osamitsu YAMADA

第68号 1999年3月 柘植敏治教授 退職記念号
田島俊雄教授

- 柘植敏治先生並びに田島俊雄先生の御定年退職に寄せて……………加藤 茂夫
柘植敏治先生のご退職にあたって……………麻島 昭一
柘植敏治先生について……………中山 雅博
発言力のあった田島先生……………根間 弘海
贈る言葉—田島先生退職に寄せて……………成田 雅彦

《論説》

- 第百三十三国立銀行の定期預金—明治19~24年の帳簿による分析—……………麻島 昭一（1）
管理会計が経営戦略に果たす役割……………櫻井 通晴（51）
ネットワークの進展とビジネス・プロセスの変革……………竹村 憲郎（75）
ペイトン会計学説の構築とアメリカ産業社会の発達……………竹林 代嘉（109）
コンビニ配置ゲームの最適解……………佐藤 創（143）
オーストリア商法評価規定の特徴……………瓶子 長幸（183）
順序従属性の推論における確信度決定の試み……………石鎚 英也，高津 信三（195）
実質為替レートの分析—タイのケース—……………倉持 俊弥（219）
インクルージョン及びインクルーシブ教育の概念に関するメモ—イギリスを中心に—……………嶺井 正也（247）
スペイン語総称表現に関する一考察……………大森 洋子（271）
On the Derived Object Constraint……………Masanori Nakamura（293）
柘植敏治教授・田島俊雄教授 履歴・業績……………（325）

第69号 1999年12月

《論説》

- 世界主要国におけるテレコム業者の管理会計システム……………櫻井 通晴（1）

MISの科学的進歩に関する一考察—Ali F. Farhoomandの所説を中心に—	竹村 憲郎	(25)
MIS論文における研究テーマと研究方法の変遷	竹村 憲郎	(63)
大規模非線形資産配分問題の階層システムの解法に関する研究	高津 信三, 渋谷 綾子	(113)
インターネット上に分散した数値情報を取得するエージェントソフトウェア	松永 賢次	(135)
《博士論文要旨および審査報告》		
松島 桂樹「情報システム投資の経済性評価」		(159)

第70号 2000年3月 荒巻 孚教授 退職記念号

荒巻 孚先生の御定年退職に寄せて	加藤 茂夫	
《論説》		
台湾における主要信託会社の考察	麻島 昭一	(1)
バランスト・スコアカードの情報技術への適用—情報システム投資の評価との関係で—	櫻井 通晴	(93)
わが国私立大学における経営学部教育の回顧		
—専修大学経営学部のカリキュラム変遷を中心に—	竹村 憲郎	(111)
途上国における固定為替相場制下の外貨準備—タイの実証分析—	倉持 俊弥	(139)
ユースケースを利用したオブジェクト指向分析・設計の事例研究	松永 賢次	(171)
荒巻 孚教授 履歴・業績		(185)

第71号 2000年10月

《論説》		
三井物産の機械取引の出発—明治期・大正前半期—	麻島 昭一	(1)
パソコンソフト・ベンダーの業績管理会計	櫻井 通晴	(99)
《研究ノート》		
カナダ勸許会計士協会 会計勧告書公開草案『継続企業（ゴーイング・コンサーン）』及び 監査勧告書公開草案『継続企業（ゴーイング・コンサーン）の前提を評価する監査人の責任』		
	山崎 秀彦	(133)
《博士論文要旨および審査報告》		
渋谷 綾子「シナリオと確率ネットワークによる資産配分問題に関する研究」		(153)
山田 義照「ABCの歴史の変遷と将来の展望—理論と実務の関係をめぐって—」		(163)

麻島昭一教授

第72号 2001年3月 岡 祐記教授 退職記念号

奥田和彦教授

麻島昭一先生、岡 祐記先生並びに奥田和彦先生の御定年退職に寄せて	加藤 茂夫	
麻島昭一先生の退職にあたって去来すること	溝田 誠吾	
岡 祐記先生のご退職に際して	坂本 實	
奥田和彦先生のご退職にあたって	石崎 徹	
《論説》		
アイルランド大規模製造企業の管理会計—Clarkeの第二回実態調査報告書—	中山 雅博	(1)
IT革命の経営管理システムへの影響	櫻井 通晴	(27)
Eコマースの普及とバーチャル・ストアのコスト的側面	竹村 憲郎	(51)
経済発展とエネルギー・資源・環境リスク—21世紀のシナリオ—	齋藤 雄志	(79)
わが国における小売業の構造変化と流通イノベーションの展開	田口 冬樹	(151)

アジア途上国の貯蓄動向に関する実証分析	倉持 俊弥 (207)
《研究ノート》	
事例報告：株式会社エスシーネットワーク	丹沢 安治, 他 (241)
麻島昭一・岡 祐記・奥田和彦教授 履歴・業績	(253)

第73号 2001年 9 月

《論説》

現代わが国における業績評価指標のあり方—日米業績評価指標の歴史的考察を踏まえて—	櫻井 通晴 (1)
日本信託業史研究の枠組みと成果	麻島 昭一 (19)
企業社会業績の評価・監査システムに関する一考察	水尾 順一 (51)

《研究ノート》

事例報告：株式会社パソナ	馬場 杉夫, 他 (75)
--------------	---------------

第74号 2002年 3 月 大本剛士教授 退職記念号

大本剛士先生の御定年退職に寄せて	加藤 茂夫
大本先生と私	石川 敏男

《論説》

バランスト・スコアカードの日本企業への有効性	櫻井 通晴 (1)
情報システムエキスパートの育成と演習施設の計画	魚田 勝臣, 坂本 實, 岡 祐記 (39)
東アジアの通貨・金融危機と資本逃避に関する実証分析—タイのケース—	倉持 俊弥 (67)
Marketing Strategy targeted to Matured Women in Aging Society	Junichi Mizuo (119)
「人文情報」をめざす	加藤 克己 (141)
大本剛士教授 履歴・業績	(169)

第75号 2003年 1 月

《論説》

バランスト・スコアカードと経営品質向上への役立ち	櫻井 通晴 (1)
戦前期三井物産の学卒社員採用—明治後半・大正期を中心として—	麻島 昭一 (25)
構成的アプローチに基づく競争戦略のシミュレーション分析	矢澤 清明 (83)
Information Disclosure, Crisis Management and Brand	Mika Takayanagi (125)

第76号 2003年 3 月 石川敏男教授 退職記念号

石川敏男先生のご退任に寄せて	魚田 勝臣
石川先生への手向け草	加藤 克己

《論説》

不良債権問題—その計数的諸分析—	井上 裕 (1)
バランスト・スコアカードを成功させるための提案	櫻井 通晴 (49)
戦後復興期における昭和電工の経営体制	麻島 昭一 (83)
東アジア諸国における通貨危機の伝染に関する実証分析	倉持 俊弥 (137)
「人文情報」の可能性	加藤 克己 (195)
石川敏男教授 履歴・業績	(207)

第77号 2003年10月

《論説》

バランスト・スコアカードの起源	櫻井 通晴 (1)
インターネット上の情報の所在と広がりについての分析 —映画におけるリアルな情報とバーチャルな情報の関連性—	植竹 朋文, 新井 範子 (19)
企業のパフォーマンスとメインバンクへの保険料	李 建平 (51)
戦前期三井物産の金融上の諸問題—大正期を中心として—	麻島 昭一 (81)
《博士論文要旨および審査報告》	
田口 冬樹『体系 流通論』(白桃書房, 2001年)	(153)

第78号 2004年 3月 井上 裕教授 退職記念号

井上 裕先生惜別の辞	魚田 勝臣
井上 裕先生のご退職にあたって	大曾根 匡

《論説》

企業再編と分権化の管理会計	櫻井 通晴 (1)
貸倒引当金の会計処理をめぐって—簿記教育の観点からの検討—	瓶子 長幸 (35)
構成的アプローチに基づく競争戦略のシミュレーション分析(2)	矢澤 清明 (49)
為替レート・輸入財価格変動が国内物価に及ぼす影響に関する実証分析	倉持 俊弥 (75)
ターンアラウンド戦略の類型と効果	大柳 康司 (115)
旧財閥系損保の企業集団内取引—三井・三菱・住友系損保の戦後活動—	麻島 昭一 (163)
井上 裕教授 履歴・業績	(259)

第79号 2004年12月

《論説》

コーポレート・レピュテーションの測定と管理	櫻井 通晴 (1)
学部ホームページの利用状況の分析及びその考察	植竹 朋文 (41)
研究開発組織におけるリーダーシップの代替要因に関する研究	蔡 芒錫 (69)
『資本論』におけるロジカル・シンキング—資本主義的蓄積の一般法則の論理—	川崎 誠 (91)

《報告》

平成15年度学生による授業評価に関する報告	専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会 (111)
《博士論文要旨および審査報告》	
水尾 順一 セルフ・ガバナンスの経営倫理	(121)
張 浩川 中国中小企業の挑戦—「小さな」世界企業への道—	(159)
金 成洙 日・韓卸売構造の変化に関する研究	(173)

第80号 2005年 3月 出牛正芳教授 退職記念号 中山雅博教授

出牛正芳先生ならびに中山雅博先生のご退任に寄せて	魚田 勝臣
出牛正芳先生について語る	田口 冬樹
中山雅博先生のご退職にあたって思うこと	櫻井 通晴

《論説》

レピュテーション・リスクの管理	櫻井 通晴 (9)
為替レートの変動性が輸出に及ぼす影響に関する実証分析	倉持 俊弥 (53)
ブランド・ユーザーの広告反応	
—ユーザー段階間での広告反応がどのように異なるのか—	石崎 徹 (95)
アニメプロダクションとブランド	
—「スタジオジブリ」と「プロダクション I.G」の事例から—	高柳 美香 (125)
テレビ番組の評価基準作成の試み—継続視聴から「満足」を考える—	新井 範子 (149)
土俵入の太刀持ちと行司	根間 弘海 (169)
出牛正芳教授・中山雅博教授 履歴・業績	(205)

第81号 2005年11月

《論説》

ウォルマートの経営戦略：成長のプロセスと競争優位の源泉について	田口 冬樹 (1)
経営学とナラティブ	
—その研究パースペクティブとリーダーシップ研究への接近—	福原 康司 (53)
四本柱の色	根間 弘海 (103)
軍配房の色	根間 弘海 (149)

《報告》

平成16年度学生による授業評価に関する報告	専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会 (181)
-----------------------	-----------------------------

《書評》

小笠原英司著『経営哲学研究序説—経営学的経営哲学の構想—』を読み、つくづく思うこと	高澤十四久 (191)
---	-------------

第82号 2006年3月 田口 勇教授 退職記念号
鈴木啓三教授

田口勇先生ならびに鈴木啓三先生 惜別の辞	魚田 勝臣
田口勇先生とおつきあい	竹村 憲郎
鈴木啓三先生と私	佐竹 弘靖

《論説》

現代日本企業におけるCIO（情報担当役員）のベストプラクティス	櫻井 通晴 (9)
直接投資が途上国経済成長に及ぼす影響に関する実証分析	倉持 俊弥 (27)
停滞期の産業再編と企業の技術効率性—1965-79年日本紡績業の事例—	是永 隆文 (67)
南部相撲の四角土俵と丸土俵	根間 弘海 (131)
軍配の型	根間 弘海 (163)
田口勇教授・鈴木啓三教授 履歴・業績	(203)

第83号 2006年12月 竹林代嘉教授 追悼号

故竹林代嘉教授のご逝去を悼む—追悼号の刊行に寄せて—	魚田 勝臣
弔 辞	竹村 憲郎
畏友、竹林代嘉君の逝去を悼む	高松 正昭

《論説》

ペイトン会計学研究の一視座	高松 正昭 (9)
---------------	-----------

引当金の再検討	瓶子 長幸	(41)
イギリスにおけるコーポレート・ガバナンスに関する情報の開示と保証	山崎 秀彦	(59)
民事再生法施行後の第三者割当増資に対する株価反応	坂口 幸雄	(81)
ターンアラウンド戦略の成否—日産自動車を例に—	大柳 康司	(109)
キャパシティ制約型サービス産業における収益管理 —イールド・マネジメントと顧客別収益性分析との統合—	青木 章通	(147)
米国 GAAP 調整利益の公表と市場反応	林 健治	(167)
遺産分割協議の解除に基づく更正の請求の可否	野口 浩	(187)
進化的イノベーション・モデルの発展	小沢 一郎	(203)
土俵の揚巻	根間 弘海	(245)

《資料》

専修大学での教育、研究、行政、社会活動の38年間	櫻井 通晴	(277)
--------------------------	-------	-------

《報告》

平成17年度学生による授業評価に関する報告	専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会	(357)
-----------------------	-----------------------	-------

《博士論文要旨および審査報告》

伊藤和憲『グローバル管理会計』		(367)
岩田弘尚「TOCにおける管理会計的側面の研究」		(377)
新江 孝『戦略管理会計研究』		(387)
間嶋 崇「組織における不祥事の組織文化論的分析に関する一考察—A. Giddens の構造化理論を応用して—」		(401)
谷守正行「銀行管理会計」		(423)
李 東勲「日本における小零細小売業に関する研究—小零細小売業の「経営目的」からの分析」		(433)
竹林代嘉教授 履歴・業績		(455)

第84号 2007年3月 櫻井通晴教授 退職記念号
加藤克己教授

櫻井通晴先生ならびに加藤克己先生惜別の辞	廣石 忠司	
わが師、櫻井通晴先生の思い出	伊藤 和憲	
櫻井通晴先生のご退職にあたって	青木 章通	
加藤先生には尺八があった	根間 弘海	

《論説》

BSCの理論と実践のアプローチ—病院経営への質の向上を目指して—	櫻井 通晴	(15)
商人の計算書類	瓶子 長幸	(33)
バランスト・スコアカードと戦略予算	伊藤 和憲	(53)
第三者割当増資における投資家・経営者間情報格差とディスカウントの役割	坂口 幸雄	(71)
途上国における金融発展と経済成長の関連性 —直接投資が成長に及ぼす影響と金融の役割に関する実証分析—	倉持 俊弥	(101)
日本における企業間の長期継続的取引関係	李 建平	(163)
行司と草履	根間 弘海	(185)
幕下格以下行司の階級色	根間 弘海	(219)
櫻井通晴教授 履歴・業績		(241)

第85号 2007年11月

《論説》

戦略経営に関する事例研究(1)—グンゼ株式会社とユニチカ株式会社—	馬場 杉夫 (1)
新興市場におけるコーポレート・レピュテーションの意識調査	櫻井 通晴, 大柳 康司, 岩淵 昭子 (15)
緋房と草履	根間 弘海 (43)
座布団投げ	根間 弘海 (79)

《書評》

福永文美夫著『経営学の進化—進化論的経営学の提唱—』(文真堂)を読む	高澤十四久 (107)
------------------------------------	-------------

《博士論文要旨および審査報告》

小酒井正和「BSC フレームワークを活用した IT マネジメントの体系化 —無形の資産を重視した IT マネジメント—」	(115)
中嶋 嘉孝「家電流通の構造変化に関する研究—家電小売流通の視点から—」	(125)
田坂 公「欧米とわが国の原価企画研究」	(141)

第86号 2008年3月

《論説》

途上国における貿易・財政赤字の関係に関する実証分析	倉持 俊弥 (1)
イノベーションと組織能力に関する考察(その2)	小沢 一郎 (45)
土俵の屋根	根間 弘海 (89)

《書評》

南 龍久著『現代の経営管理』(中央経済社)を読む	高澤十四久 (131)
--------------------------	-------------

第87号 2008年11月

《論説》

コンピュータと情報システム—企業と大学における研究教育・組織運営—	奥田 勝臣 (1)
EVA の特質と日本企業への適合性—経常利益, RI, 社内金利, BSC との関係で—	櫻井 通晴 (47)
明治43年以前の紫房は紫白だった	根間 弘海 (77)

《報告》

平成19年度学生による授業評価に関する報告	専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会 (127)
-----------------------	-----------------------------

第88号 2009年3月 奥田勝臣教授 岡田和秀教授 退職記念号

奥田勝臣先生ならびに岡田和秀先生の定年ご退職に寄せて	瓶子 長幸
最終講義 私と経営学—たどってきた道—	岡田 和秀
奥田勝臣先生のご退職にあたって	大曾根 匡
岡田和秀教授との交友における幾つかの思い出	高澤十四久
岡田和秀先生と私	加藤 茂夫

《論説》

プロダクト・イノベーションに関する一考察 —機能&ベネフィット・コンセプトによるアプローチ—	小沢 一郎 (41)
途上国のキャピタル・フライトに関する実証分析	倉持 俊弥 (89)
昭和初期の番付と行司	根間 弘海 (123)
奥田勝臣教授 履歴・業績	(159)
岡田和秀教授 履歴・業績	(173)

第89号 2009年11月

《論説》

戦略経営に関する事例研究(2)

- 江崎グリコ株式会社, 小林製薬株式会社, 株式会社パイロットコーポレーション— ……馬場 杉夫 (1)
HOB モデルによる ROE の要素分解 ……一ノ宮士郎 (25)
明治30年以降の番付と房の色 ……根間 弘海 (51)

《書評》

- 岸田民樹・田中政光著『経営学説史』(有斐閣)を読んで ……高澤十四久 (107)

第90号 2010年3月 高澤十四久教授 退職記念号
竹村 憲郎教授

- 竹村憲郎先生ならびに高澤十四久先生の定年ご退職に寄せて ……瓶子 長幸
高澤先生のご退職にあたって ……加藤 茂夫
竹村憲郎先生のご退職にあたって ……大曾根 匡

《論説》

大学入試の選択科目としての教科「情報」—その導入から休止までのプロセス—

- ……………植竹 朋文, 渥美 幸雄, 大曾根 匡, 竹村 憲郎, 渡辺 展男 (11)
事業継承に関する事例研究(1)—西島株式会社— ……馬場 杉夫 (47)
リーダーシップとフォロー
—バーナード理論の示唆と社会構成主義アプローチの検討— ……福原 康司 (59)
「実践としての経営倫理」研究に関する一考察
—組織不祥事分析に対する有効性と限界の検討— ……間嶋 崇 (103)
ログデータから意識の構造を探る方法の試案 ……新井 範子 (131)
途上国における為替レートと貿易収支の調整に関する実証分析 ……倉持 俊弥 (149)
ステークホルダー理論からみたステークホルダーの特定
—コーポレート・レピュテーションにおけるステークホルダー— ……櫻井 通晴 (183)
大正時代の番付と房の色 ……根間 弘海 (207)
「貨幣の資本への転化」の論理 I ……川崎 誠 (259)

《研究ノート》

- 近時の労働立法と企業実務への影響 ……廣石忠司 (325)

《報告》

- 平成20年度学生による授業評価に関する報告 ……専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会 (335)
高澤十四久教授 履歴・業績 …… (347)
竹村 憲郎教授 履歴・業績 …… (359)

第91号 2010年12月

《論説》

- コーポレート・コミュニケーションのレピュテーションへの貢献 ……櫻井 通晴 (1)
草履の朱房行司と無草履の朱房行司 ……根間 弘海 (23)
上覧相撲の横綱土俵入りと行司の着用具 ……根間 弘海 (53)

《報告》

平成21年度学生による授業評価に関する報告 ……専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会 (71)

第92号 2011年3月

《論説》

- 戦略経営に関する事例研究(3)—ライオン株式会社—……………馬場 杉夫 (1)
政府開発援助と経済成長の関係に関する実証分析 ……倉持 俊弥 (9)
明治の立行司の席順 ……根間 弘海 (31)

第93号 2011年12月

《報告》

- 現役行司の入門アンケート調査 ……根間 弘海 (1)
平成22年度学生による授業評価に関する報告 ……専修大学経営学部 自己点検・評価実施委員会 (29)

第94号 2012年3月

《論説》

- 情報基礎教育のための教科書・教授教材の開発と展開—コンピュータ概論：情報システム入門を中心として—
……………魚田 勝臣, 大曾根 匡, 綿貫 理明, 渥美 幸雄, 植竹 朋文, 森本 祥一 (1)
途上国の対外債務とGDPの関係に関する実証分析……………倉持 俊弥 (17)
大正期の立行司を巡って ……根間 弘海 (31)

《調査》

- ベンチャー企業の経営と組織戦略—2011年企業アンケート調査を中心に— ……加藤 茂夫 (53)
平成22年度学生による授業評価に関する報告(訂正) ……(111)

第95号 2012年11月

《論説》

- 戦略経営に関する事例研究(4)—TOTO株式会社—……………馬場 杉夫 (1)
中国民間航空機産業の成長 ……張 浩川, 李 建平 (9)

《書評》

- 経営学史学会監修 藤井一弘〔編集〕『バーナード』
経営学史学会創立20周年記念 経営学史叢書Ⅵ(文真堂)……………高澤十四久 (19)

《博士論文要旨および審査報告》

- ソーシャルメディアを活用したマーケティングに関する研究 ……新井 範子 (23)

第96号 2013年3月 根間弘海教授 退職記念号

献呈の辞 専修大学経営学部長 馬場杉夫

《論説》

- 戦略経営に関する事例研究(5)—株式会社生方製作所, 株式会社ブリヂストン—……………馬場 杉夫 (1)
組織の変革とディスコース
—「変革化」論への転回と批判的ディスコース分析の検討— ……福原 康司 (15)
開発途上国財政赤字のクラウドファンディング・アウトに関する実証分析 ……倉持 俊弥 (31)

十両以上の行司の軍配	根間 弘海 (49)
『資本論』の論理—貨幣または商品流通—(1)	川崎 誠 (71)
根間 弘海教授 履歴・業績	(81)

第97号 2013年11月

《論説》

戦略経営に関する事例研究(6)—矢崎グループ(矢崎総業株式会社), 加賀電子株式会社—	馬場 杉夫 (1)
ホテル業界に関係するインターネットサービスについての一考察	植竹 朋文, 青木 章通 (15)
『資本論』の論理—貨幣または商品流通—(2)	川崎 誠 (31)

第98号 2014年3月 溝田誠吾教授 退職記念号

献呈の辞 専修大学経営学部長 馬場杉夫

溝田先生を語る	田口 冬樹 (1)
---------------	-----------

《論説》

戦略経営に関する事例研究(7)—YKK株式会社, キヤノン株式会社—	馬場 杉夫 (5)
オーディエンスによるメディア分類とクラスター別メディア評価(上)	
—因子分析によるメディア分類—	石崎 徹 (21)
農業法人は農業再生の主体となり得るか	今井 雅和 (35)
マーケティング論の観点からみる『「小さな」世界企業』についての一考察	梶原 勝美 (57)
Optimal Level of Division of Labor and an Introduction of Information Technology into Organizations	望月 宏 (69)
途上国における財政赤字, インフレ率の関連性と管理フロート,	
インフレ・ターゲティング採用の影響に関する実証分析	倉持 俊弥 (83)
『資本論』の論理—貨幣または商品流通—(3)	川崎 誠 (103)
溝田 誠吾教授 履歴・業績	(123)

第99号 2014年12月

《論説》

オーディエンスによるメディア分類とクラスター別メディア評価(下)	
—クラスター分析によるメディア・オーディエンスの分類—	石崎 徹 (1)
現代の管理会計にはいかなる体系が用いられるべきか?	
—マネジメント・コントロール・システムを中心に—	櫻井 通晴 (9)
《博士論文要旨および審査報告》	
小売業の業態多様化に関する研究—中国市場における業態多様化を中心に—	楊 陽 (35)